

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(平成29年12月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査】)

【大気質、水質（一般項目）】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪市 港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

I 事後調査の概要

- 1. 調査概要 I - 1
- 2. 工事の実施状況 I - 3
- 3. 調査結果の概要 I - 4

II 事後調査結果

- 1. 大気質 II - 1
- 2. 水質 II - 9

I 事後調査の概要

1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく平成 29 年 12 月（大気質、水質）の事後調査の概要は表－1 に、調査地点の位置は図－1 に示すとおりである。

表－1(1) 事後調査の概要（埋立地周辺における調査 大気質）

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO ₂) 窒素酸化物(NO ₂ 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	12月1日～31日	通年連続

表－1(2) 事後調査の概要（埋立地周辺における調査 水質（一般項目））

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	12月14日	1回/月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質量(SS) クロロフィルa			

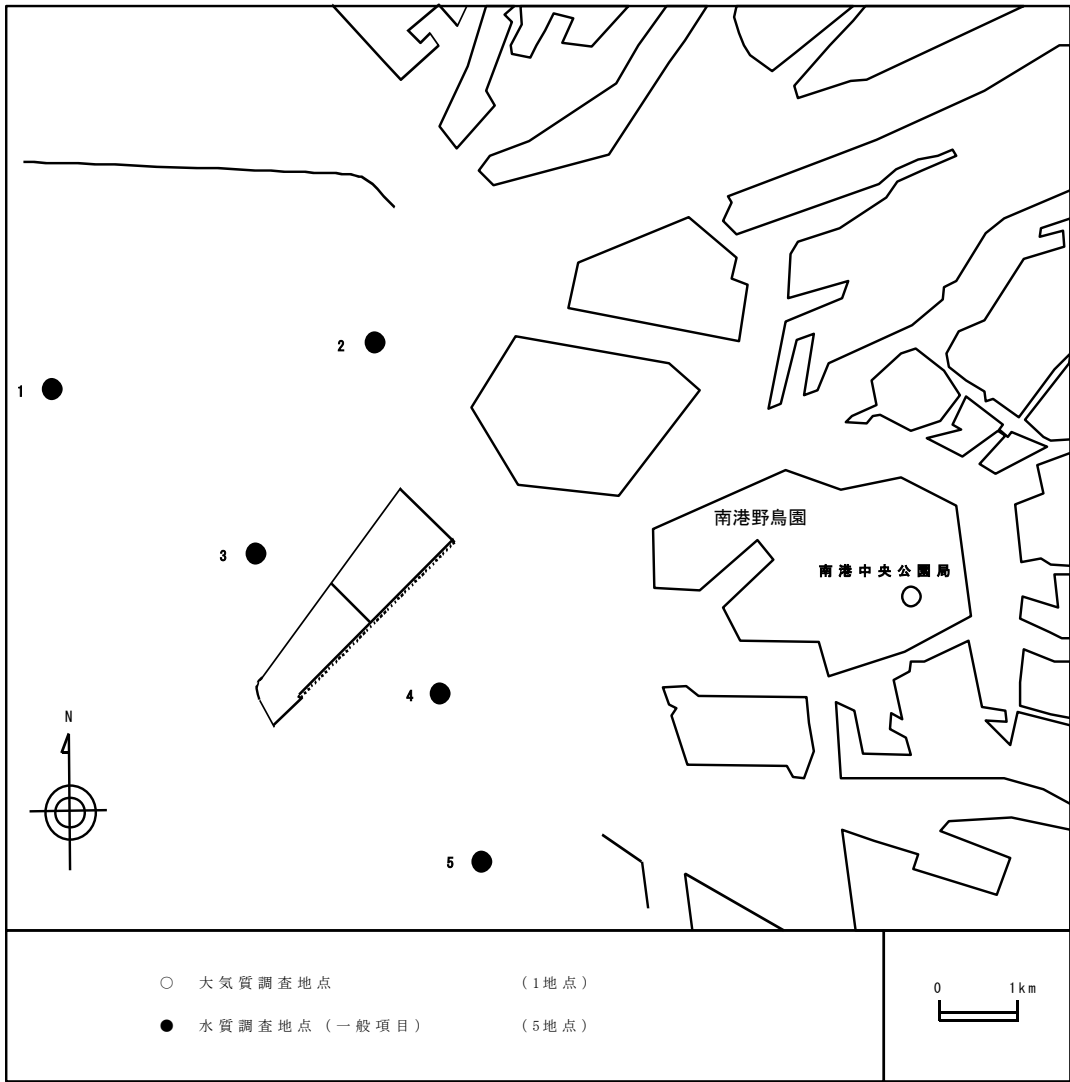
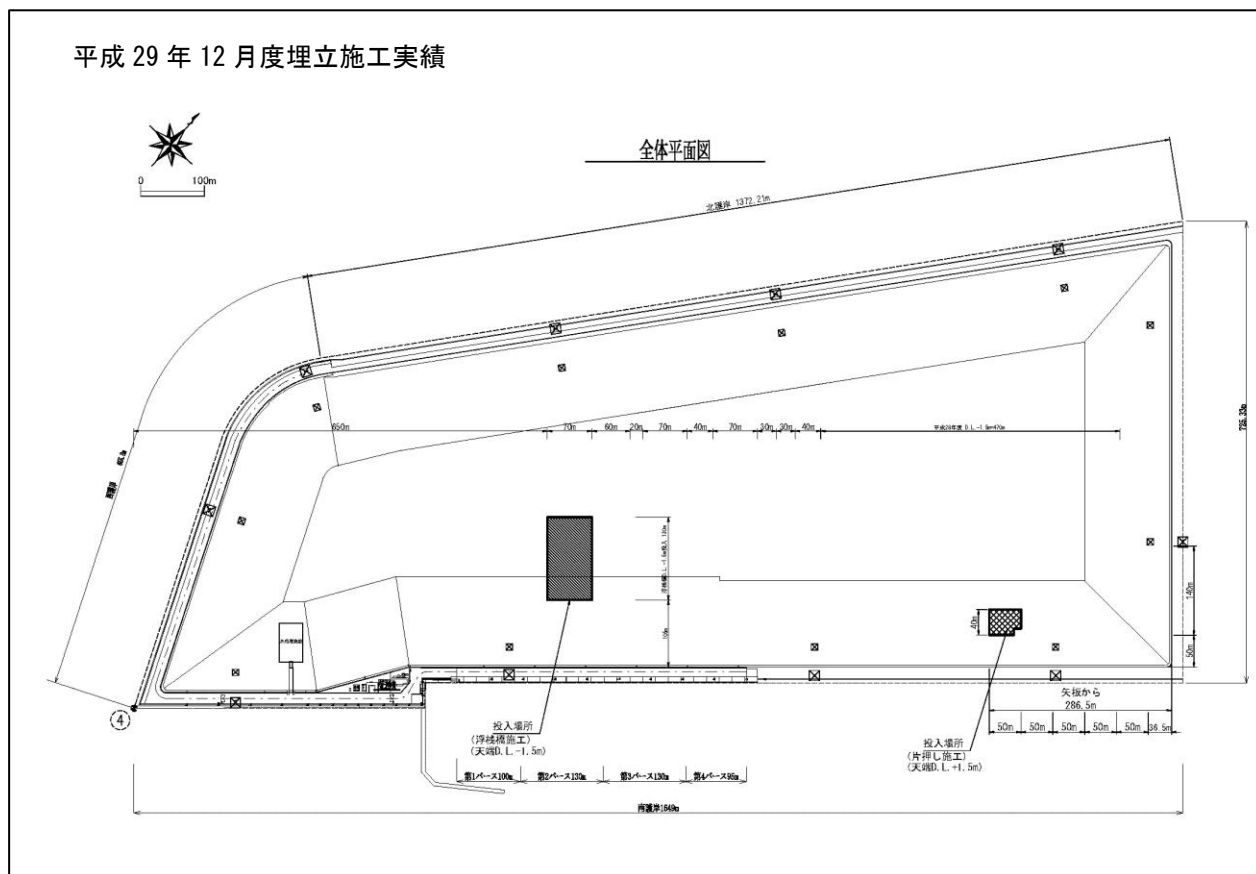


図-1 大気質・水質(一般項目)の調査地点

2. 工事の実施状況

平成 29 年 12 月の工事の実施状況は、図-2 に示すとおりである。



埋立量(m ³)	進捗率(%)
4,382,627	31.4

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m³

図-2 工事の実施状況

3. 調査結果の概要

埋立地周辺における調査

(1) 大気質 [大気質様式第1号～8号]

1) 二酸化硫黄 (SO₂) 【環境基準値：日平均値：0.04ppm以下、1時間値：0.1ppm以下】

二酸化硫黄(SO₂)の月平均値は、0.003ppmであった。また、日平均値の最高値は0.005ppm、1時間値の最高値は0.015ppmであり、環境基準値を下回っていた。

2) 二酸化窒素 (NO₂) 【環境基準値：日平均値0.04～0.06ppmのゾーン内またはそれ以下】

二酸化窒素(NO₂)の月平均値は、0.024ppmであった。また、日平均値の最高値は0.045ppmであり、環境基準の範囲内であった。

3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値0.10mg/m³以下、1時間値：0.20mg/m³以下】

浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.016mg/m³であった。また、日平均値の最高値は0.036mg/m³、1時間値の最高値は0.059mg/m³であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

(2) 水質

①一般項目 [水質様式第1号]

1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8以上8.3以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層及び下層で8.0～8.2の範囲にあり、全ての調査地点において環境基準値の範囲内にあった。

2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で2.6～4.0mg/L、下層で1.9～2.6mg/Lであり、上層では調査地点1、2において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点1(4.0mg/L)、調査地点2(3.3mg/L)であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成12年度)は上層で1.6～4.9mg/Lであり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で8.8～9.2mg/L、下層で8.4～8.7mg/Lの範囲にあり、上層、下層共に全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値：0.6mg/L以下】

全窒素 (T-N) は上層で0.75～1.6mg/L、下層で0.36～0.41mg/Lの範囲にあり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (1.6mg/L)、調査地点 2 (1.3mg/L)、調査地点 3 (0.75mg/L)、調査地点 4 (1.1mg/L)、調査地点 5 (0.77mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.46～2.1mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

5) 全燐 (T-P) 【環境基準値 : 0.05mg/L 以下】

全燐 (T-P) は上層で 0.049～0.13mg/L、下層で 0.030～0.040mg/L の範囲にあり、上層では調査地点 1、2、3、4 において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (0.13mg/L)、調査地点 2 (0.10mg/L)、調査地点 3 (0.056mg/L)、調査地点 4 (0.062mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.021～0.15mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

6) 濁度

濁度は上層で報告下限値未満 (<1 度 カリソ) ～2 度(カリソ)、下層では全ての調査地点において報告下限値未満 (<1 度 カリソ) であった。

7) 浮遊物質 (SS)

浮遊物質 (SS) は上層で報告下限値未満 (<1 mg/L) ～2mg/L、下層で報告下限値未満 (<1 mg/L) ～1mg/L の範囲であった。

8) クロフィル a

クロフィル a は上層で 0.4～0.8 μ g/L、下層で 0.3～0.6 μ g/L の範囲であった。

《 参 考 》

■環境基準値等（本報告関係分）

1. 環境基準

(1)大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO ₂)	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、 1時間値が0.1ppm以下であること。
二酸化窒素 (NO ₂)	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでの ゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、 1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。

(2)水質

①水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度（pH）	7.8以上8.3以下
	化学的酸素要求量（COD）	3mg/L以下
	溶存酸素量（DO）	5mg/L以上
	n-ヘキサン抽出物質（油分等）	検出されないこと
III	全窒素（T-N）	0.6mg/L以下
	全磷（T-P）	0.05mg/L以下

注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及びn-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全磷の基準値は年間平均値である。

2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。

公共用水域における環境基準（BOD又はCOD）の評価方法について（昭和52年環水管52号）

(1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。

なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水質値」を用いるものとする。

75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ0.75×n番目（nは日間平均値のデータ数）のデータ値をもって75%水質値（0.75×n番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。

(2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち75%以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。

(3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

(3) 騒音（道路に面する地域以外の地域）

地域の 類型	基準値	
	昼間	夜間
C	60 デジベル以下	50 デジベル以下

注) 1. 時間の区分は以下のとおりである。

昼間：午前6時～午後10時 夜間：午後10時～午前6時

2. 騒音の評価手法は、等価騒音レベルによるものとし、時間の区分ごとの全時間を通じた等価騒音レベルによって評価することを原則とする。

2. 事業実施前調査結果（平成12年度・水質（一般項目））

項目	区分	事業実施前調査 (平成12年度・調査地点1～5)	
		最小値 ~ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [-]	上層	7.7 ~ 8.6 (13/60)	-
	下層	7.8 ~ 8.3 (0/60)	-
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	1.6 ~ 4.9 (34/60)	3.2 ~ 3.9 (5/5)
	下層	1.2 ~ 3.6 (4/60)	2.0 ~ 2.2 (0/5)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	5.2 ~ 14 (0/60)	8.6 ~ 9.8
	下層	0.6 ~ 11 (14/60)	6.2 ~ 6.9
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.46 ~ 2.1	0.91 ~ 1.1 (5/5)
	下層	0.29 ~ 0.82	0.44 ~ 0.49 (0/5)
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.021 ~ 0.15	0.061 ~ 0.098 (5/5)
	下層	0.020 ~ 0.25	0.038 ~ 0.063 (1/5)

注) 1. 「最大～最小」の値は、調査地点1～5における全調査地点の最小値と最大値を示す。

2. m：環境基準を満たしていないデータ数、n：総データ数を示す。

3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小～最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における75%値の最小～最大を示す。

II 事後調查結果

大気質様式第1号（埋立地関連）

大気質測定結果総括表 [平成29年12月分]

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	736
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	4
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	740
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	741
	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注: 大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

二酸化硫黄測定結果 [平成29年12月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値 (ppm)	1時間値の最高値 (ppm)
日	1 (金)	0.002	0.005
	2 (土)	0.003	0.008
	3 (日)	0.004	0.010
	4 (月)	0.004	0.012
	5 (火)	0.002	0.004
別	6 (水)	0.003	0.006
	7 (木)	0.004	0.008
	8 (金)	0.003	0.006
	9 (土)	0.002	0.007
	10 (日)	0.003	0.010
	11 (月)	0.003	0.007
	12 (火)	0.002	0.005
	13 (水)	0.003	0.005
	14 (木)	0.002	0.004
	15 (金)	0.002	0.006
	16 (土)	0.004	0.014
	17 (日)	0.002	0.003
	18 (月)	0.004	0.008
	19 (火)	0.004	0.011
	20 (水)	0.005	0.015
値	21 (木)	0.004	0.009
	22 (金)	0.005	0.011
	23 (土)	0.005	0.009
	24 (日)	0.003	0.007
	25 (月)	0.002	0.006
	26 (火)	0.003	0.005
	27 (水)	0.002	0.005
	28 (木)	0.003	0.006
	29 (金)	0.003	0.008
	30 (土)	0.001	0.002
	31 (日)	0.003	0.010
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		736	
月平均値 (ppm)		0.003	
日平均値の最高値 (ppm)		0.005	
1時間値の最高値 (ppm)		0.015	
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第3号（埋立地関連）

一酸化窒素測定結果 [平成29年12月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (金)	0.002	0.007
	2 (土)	0.010	0.053
	3 (日)	0.006	0.039
	4 (月)	0.032	0.073
	5 (火)	0.005	0.040
	6 (水)	0.004	0.012
	7 (木)	0.040	0.155
	8 (金)	0.027	0.125
	9 (土)	0.006	0.043
	10 (日)	0.007	0.023
別	11 (月)	0.005	0.035
	12 (火)	0.003	0.009
	13 (水)	0.003	0.007
	14 (木)	0.006	0.024
	15 (金)	0.020	0.061
	16 (土)	0.031	0.181
	17 (日)	0.001	0.002
	18 (月)	0.006	0.046
	19 (火)	0.015	0.104
	20 (水)	0.040	0.164
値	21 (木)	0.055	0.219
	22 (金)	0.052	0.176
	23 (土)	0.038	0.143
	24 (日)	0.012	0.039
	25 (月)	0.003	0.009
	26 (火)	0.003	0.007
	27 (水)	0.003	0.007
	28 (木)	0.004	0.009
	29 (金)	0.012	0.114
	30 (土)	0.001	0.004
	31 (日)	0.003	0.007
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		740	
月平均値 (ppm)		0.015	
日平均値の最高値 (ppm)		0.055	
1時間値の最高値 (ppm)		0.219	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

二酸化窒素測定結果 [平成 29 年 12 月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値 (ppm)	1 時間値の最高値 (ppm)
日	1 (金)	0.015	0.030
	2 (土)	0.023	0.041
	3 (日)	0.027	0.046
	4 (月)	0.040	0.049
	5 (火)	0.015	0.042
	6 (水)	0.018	0.036
	7 (木)	0.037	0.054
	8 (金)	0.028	0.047
	9 (土)	0.019	0.034
	10 (日)	0.022	0.039
別	11 (月)	0.019	0.039
	12 (火)	0.011	0.022
	13 (水)	0.015	0.022
	14 (木)	0.021	0.039
	15 (金)	0.035	0.051
	16 (土)	0.028	0.052
	17 (日)	0.006	0.010
	18 (月)	0.020	0.044
	19 (火)	0.026	0.049
	20 (水)	0.037	0.051
値	21 (木)	0.043	0.056
	22 (金)	0.045	0.060
	23 (土)	0.040	0.062
	24 (日)	0.034	0.045
	25 (月)	0.015	0.025
	26 (火)	0.015	0.025
	27 (水)	0.013	0.020
	28 (木)	0.019	0.031
	29 (金)	0.020	0.048
	30 (土)	0.010	0.036
	31 (日)	0.020	0.029
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		740	
月平均値 (ppm)		0.024	
日平均値の最高値 (ppm)		0.045	
1時間値の最高値 (ppm)		0.062	
1時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)		0	
1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)		0	
日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)		0	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)		4	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

窒素酸化物（NO+NO₂）測定結果 [平成 29 年 12 月分]

測定局		南港中央公園		
項目		日平均値		1時間値の最高値 (ppm)
		(ppm)	NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)	
日	1 (金)	0.017	88.2	0.037
	2 (土)	0.033	69.3	0.091
	3 (日)	0.034	81.1	0.085
	4 (月)	0.072	55.3	0.122
	5 (火)	0.020	76.3	0.082
	6 (水)	0.022	80.6	0.048
	7 (木)	0.076	48.3	0.202
	8 (金)	0.056	50.7	0.172
	9 (土)	0.025	76.7	0.077
	10 (日)	0.028	77.0	0.055
別	11 (月)	0.024	77.8	0.074
	12 (火)	0.014	79.3	0.031
	13 (水)	0.018	82.3	0.027
	14 (木)	0.026	79.2	0.063
	15 (金)	0.054	63.9	0.099
	16 (土)	0.060	47.8	0.233
	17 (日)	0.007	84.1	0.012
	18 (月)	0.026	77.4	0.090
	19 (火)	0.042	63.1	0.153
	20 (水)	0.078	48.2	0.213
値	21 (木)	0.098	43.5	0.274
	22 (金)	0.097	46.1	0.226
	23 (土)	0.078	51.8	0.192
	24 (日)	0.045	74.7	0.079
	25 (月)	0.018	85.2	0.034
	26 (火)	0.018	83.6	0.032
	27 (水)	0.015	82.6	0.027
	28 (木)	0.022	84.1	0.040
	29 (金)	0.032	61.9	0.162
	30 (土)	0.011	90.2	0.040
	31 (日)	0.023	86.2	0.035
有効測定日数 (日)		31		
測定時間 (時間)		740		
月平均値 (ppm)		0.038		
日平均値の最高値 (ppm)		0.098		
1時間値の最高値 (ppm)		0.274		
月平均値 NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)		61.9		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO₂ / (NO+NO₂) の算定方法は、下記のとおりである。

$$\text{日(月)平均値 NO}_2 / (\text{NO} + \text{NO}_2) =$$

(NO及NO₂が同時測定されている時間のNO₂濃度の日(月)間にわたる総和) /

(NO及NO₂が同時測定されている時間のNO+NO₂濃度の日(月)間にわたる総和)

3. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第6号（埋立地関連）

浮遊粒子状物質測定結果 [平成29年12月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値(mg/m ³)	1時間値の最高値(mg/m ³)
日 別 値	1 (金)	0.008	0.011
	2 (土)	0.011	0.024
	3 (日)	0.020	0.034
	4 (月)	0.025	0.040
	5 (火)	0.010	0.029
	6 (水)	0.009	0.017
	7 (木)	0.021	0.036
	8 (金)	0.018	0.040
	9 (土)	0.009	0.016
	10 (日)	0.016	0.025
	11 (月)	0.015	0.027
	12 (火)	0.006	0.009
	13 (水)	0.007	0.011
	14 (木)	0.008	0.014
	15 (金)	0.015	0.023
	16 (土)	0.022	0.039
	17 (日)	0.009	0.012
	18 (月)	0.012	0.019
	19 (火)	0.016	0.029
	20 (水)	0.022	0.033
	21 (木)	0.025	0.053
	22 (金)	0.032	0.050
	23 (土)	0.035	0.059
	24 (日)	0.036	0.048
	25 (月)	0.015	0.026
	26 (火)	0.013	0.019
	27 (水)	0.008	0.012
	28 (木)	0.008	0.010
	29 (金)	0.015	0.026
	30 (土)	0.011	0.015
	31 (日)	0.014	0.023
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		741	
月平均値 (mg/m ³)		0.016	
日平均値の最高値 (mg/m ³)		0.036	
1時間値の最高値 (mg/m ³)		0.059	
1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

気象観測結果（風向・風速）[平成29年12月分]

測定局		南港中央公園			
項目		風速			最多 風向 16方位
		平均 風速 (m/s)	最大風速		
			風速 (m/s)	風向 16方位	
日	1 (金)	1.7	3.1	WNW	WNW
	2 (土)	0.8	1.8	WSW	CALM
	3 (日)	0.6	1.2	ESE	CALM
	4 (月)	0.6	1.3	WSW	NNE
	5 (火)	2.8	3.7	WNW, WNW, WNW	WNW
	6 (水)	1.7	2.8	WNW	WNW
	7 (木)	0.7	1.9	SW	ESE, CALM
	8 (金)	1.4	3.4	NW	WNW, NW
	9 (土)	1.3	2.5	WNW	WNW
	10 (日)	0.8	1.6	ESE	ESE
別	11 (月)	2.5	5.5	WNW	WNW
	12 (火)	3.1	4.5	WNW	WNW
	13 (水)	2.3	3.9	WNW	WNW
	14 (木)	1.3	2.5	NW	NW
	15 (金)	0.7	1.5	E	E
	16 (土)	1.4	5.3	WNW	WNW
	17 (日)	2.8	4.5	WNW, WNW	WNW
	18 (月)	1.4	2.8	WNW	WNW
	19 (火)	1.1	2.8	WNW	WNW
	20 (水)	1.0	2.8	WSW	SE, WSW, CALM
値	21 (木)	0.7	1.7	WSW	CALM
	22 (金)	0.9	1.8	WSW	ESE, SSW, SW, CALM
	23 (土)	0.8	2.6	WSW	WSW
	24 (日)	0.8	1.9	N, NE	N
	25 (月)	2.9	5.9	WNW	WNW
	26 (火)	3.0	4.4	W, W, WNW	WNW
	27 (水)	3.3	4.6	WNW	WNW
	28 (木)	1.6	2.9	WNW	WNW
	29 (金)	1.1	3.4	WNW	WNW
	30 (土)	0.9	1.8	NW	NW
	31 (日)	1.0	2.5	WNW	WNW
測定時間 (時間)		744			
月平均風速 (m/s)		1.5			
月最大風速 (m/s)		5.9			
月最多風向 (16方位)		WNW			

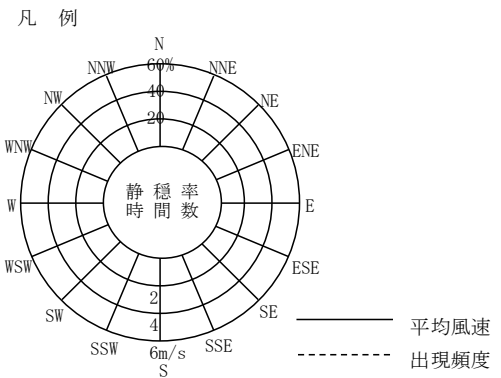
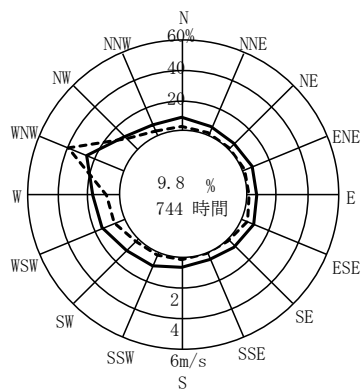
注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第8号（埋立地関連）

風向別出現頻度及び風向別平均風速 [平成29年12月分]

項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	21	17	25	18	37	11	3	6	11	9	45	55	281	74	31	27	73	744
頻度 (%)	2.8	2.3	3.4	2.4	5.0	1.5	0.4	0.8	1.5	1.2	6.0	7.4	37.8	9.9	4.2	3.6	9.8	-
平均風速 (m/s)	0.7	0.7	0.8	0.8	0.9	0.7	0.5	0.6	0.9	1.0	1.5	1.6	2.5	1.2	0.8	0.9	0.2	-

測定局：南港中央公園局 風向風速計高さ：14.2m



注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

風配図 [平成29年12月分]

水質様式第1号

水質調査結果（一般項目）[平成29年12月分]

調査日：平成29年12月14日

調査点 項目		1	2	3	4	5	最小値 ~ 最大値		平均値
		時刻	11:34	11:20	11:54	12:30	12:15	-	
透明度	[m]	5.2	6.0	6.0	6.3	6.2	5.2 ~ 6.3	5.9	
水温	[°C]	10.8	11.8	12.0	12.0	11.8	10.8 ~ 12.0	11.7	
		13.5	13.5	13.4	13.1	12.9	12.9 ~ 13.5	13.3	
塩分	[-]	23.1	24.5	28.3	25.5	28.0	23.1 ~ 28.3	25.9	
		31.1	31.2	31.4	31.1	31.0	31.0 ~ 31.4	31.2	
濁度	[度(カリン)]	2	1	<1	<1	<1	<1 ~ 2	1	
		<1	<1	<1	<1	<1	<1 ~ <1	1	
浮遊物質 (SS)	[mg/L]	<1	1	1	1	2	<1 ~ 2	1	
		1	<1	1	<1	<1	<1 ~ 1	1	
水素イオン濃度 (pH)	[-]	8.0	8.1	8.2	8.2	8.2	8.0 ~ 8.2	-	
		8.0	8.1	8.2	8.2	8.2	8.0 ~ 8.2	-	
化学的酸素要求量 (COD)	[mg/L]	4.0	3.3	3.0	2.6	2.9	2.6 ~ 4.0	3.2	
		1.9	2.5	2.1	2.3	2.6	1.9 ~ 2.6	2.3	
溶存酸素量 (DO)	濃度 [mg/L]	9.2	8.9	8.9	9.0	8.8	8.8 ~ 9.2	9.0	
	飽和度 [%]	8.5	8.6	8.4	8.4	8.7	8.4 ~ 8.7	8.5	
全窒素 (T-N)	[mg/L]	96	96	99	98	97	96 ~ 99	97	
		99	100	98	97	100	97 ~ 100	99	
全窒素 (T-N)	[mg/L]	1.6	1.3	0.75	1.1	0.77	0.75 ~ 1.6	1.1	
		0.40	0.36	0.37	0.41	0.40	0.36 ~ 0.41	0.39	
全燐 (T-P)	[mg/L]	0.13	0.10	0.056	0.062	0.049	0.049 ~ 0.13	0.079	
		0.040	0.030	0.031	0.036	0.033	0.030 ~ 0.040	0.034	
クロロフィル a (chl. a)	[μg/L]	0.6	0.7	0.4	0.8	0.4	0.4 ~ 0.8	0.6	
		0.4	0.5	0.6	0.3	0.3	0.3 ~ 0.6	0.4	

注) 上段：上層（海面下1m）
下段：下層（海底面上2m）

特記事項
